



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部  
発行 佐々木 力  
編集者 及川 孝  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス numori@poem.ocn.ne.jp

2016.11.10 第1499号

# 大会 特集号

## 佐々木委員長あいさつ (要旨)



衆参両院で改憲勢力の3分の2を確保した安倍政権に歯止めをかけるために、護憲・脱原発・労働法制改悪反対などの政治闘争を強化していく。予想される解散総選挙では、自民党など改憲勢力の議席を減らすために全力を挙げたい。地方から政治を国民の側に取り戻すために、来年に予定さ

れる一関市議会議員選挙では組織内議員「千葉信吉」さんの再選をめざし奮闘する。鉄道事業を取り巻く環境は、少子化、過疎化、生産人口の減少が見込まれる中で、大きく変化している。大規模な自然災害で被災した路線の復旧が進められているが、とりわけ盛岡・宮古間の運転再開は、三陸沿岸の復興に向けたJR東日本の社会的責任である。国民の移動する権利を確保し、高齢化社会における医療・福祉、子どもの通学など、地域交通のあり方が問われている。交通政策基本法や国労の政策

提言を踏まえ本部や交運労協と連携し、公共交通の確保にむけ取り組んでいく。JR各社の社員は激減している。背景には、業務の大幅な外注化・委託化がある。劣悪化する労働条件や格差の拡大で、知識や技術継承が阻害され安全・安定輸送が脅かされようとしている。急激な世代交代により技術継承と人材育成が大きな課題であり、関連会社のチェック機能も出ていない状況になっている。知識と技術を継承し、人材を育てるために労働条件や労働環境を整えることが必要である。国労は今日まで、正規や非正規、JR会社や関連会社、

もちろん所属する労働組合を問わず、働くものすべての権利や労働条件、労働環境を守るために運動してきた。関連会社に働く仲間の組織化にも取り組んでいく。今年4月、新規採用者の青年が国労に加入した。他労組の青年や女性も国労加入した。青年の動向を注視し、国労加入という選択肢があることに気が付かれたと話しているなど大きな影響を与えている。平成採用組合員を拡大し、ミドル層・シニア層の国労復帰に全力を挙げ、結成から70年の国労運動と組織を若い世代に引き継ぐため、全組合員が一歩前に踏み出す運動をお願いし挨拶とする。

# 組織拡大・労働条件改善に取り組む

## = 平和を守り、政治課題の解決の運動も強化 =



=大会は、北上議長(写真左)、竹内副議長(同右)で進められた=

### 第72回定期地方大会／盛岡市・リリオ

## 北上・竹内議長団で進行

大会は、10時45分に小林良宏執行副委員長の開会挨拶で始まり、代議員36人中35人の出席と地方本部執行部全員の出席を確認し大会成立宣言。議長に北上常義(八戸工務分会)、副議長に竹内俊博(北上駅連合分会)を選出、代表し北上議長から就任の挨拶を受け進められた。最初に佐々木執行委員長

地方本部は、第72回定期地方大会を10月8日に盛岡市のコミュニケーショングラリールリオで開催した。大会では、職場労働条件の改善、組織強化・拡大、厳しさを増すエルダー社員の職場実態発露状況、技術継承とも関連する若手社員の現状と交流実態などを10人の委員が発言し、執行部から考え方が示された。そして向かう1年間は、「差別を無くし交流の場を作り組織拡大に取り組む」「安全安定輸送の確立、労働組合としてのチェック機能を果たし、労働条件の改善と結合させていく」「被災線区の早期復旧と災害に強い公共交通鉄道作りを求めて行く」「平和と民主主義、国民生活擁護、憲法改正反対、脱原発、政治課題の闘いに全力を挙げて行く」ことなどを意思統一した。全組合員で運動を展開して行く。

## 来賓・メッセージ

### 【来賓】(挨拶・紹介順)

佐藤浩之平和環境若手県センター副議長(若手県交運労協代表挨拶含む)、小西和子社民党若手県連代表、齋藤信日本共産党若手県委員会副



佐藤浩之若手県平和環境センター副議長



小西和子社民党若手県連代表



菊池忠志日本共産党執行部委員

委員長、菅原芳勝東北労働金庫若手県本部副部長、来内広幸全労若手県本部部長、上田高若手県民共済理事、吉田和弘全交運共済東日本事業本部東北支所次長、菊池忠

志国労東日本本部委員長、大沼元国労東北協議会事務局長、国労議員団(千葉信吉一関市議会議員、高橋伸二平泉町議会議員、星敦子北上市議会議員、阿部一男花巻市議会議員、山崎道夫矢巾町議会議員、斎藤憲雄青森市議会議員)、高嶋昭一鉄道退職者の会盛岡地

方連合会会長、中堤久江地方本部家族会会長。【祝電・メッセージ】(順不同) 若手県教職員組合、若手県高等学校教職員組合、若手県交通労働組合、全自交若手地方本部、全農林労働組合若手県協議会、全国林野関連労働組合若手県協議会、全労若手県連合労働組合若手支部、若手県合同労働組合連合会、全日本運輸産業労働組合若手県連合会、国労関係(秋田・仙台・新潟・水戸・高崎・東京・長野・千葉の各地方本部)

あるが、6時20分から準備作業をサービス労働での実態にある。TSSは遺失物検索システムから外れ不便になり、1人勤務の実態としては遺失物をサービス労働で届けて

「いわいずみ」は11月1日の仮オープンに向け内装工事が急ピッチで進められている。隣接する楽天イギリス球場は大量の土砂が押し寄せフェンスも変形したまま。驚いたのはライオンスタンド側に濁流に流れられ制御を失ったトラック3台が横転した状態のまま放置されている。まるで東日本大震災を思わせるような光景に改めて豪雨被害の恐ろしさを感じる。被害がなければ「2016希望郷いわて国体」の軟式野球競技会が開催されるはずであり残念でならない。そんな中、東京の中学生の一行が修学旅行で岩泉町を訪れるニュースが流れた。彼らは豪雨被害で龍泉洞を見学することができないのを承知の上、今年も岩泉町を選んでくれた。2014年岩泉線の廃線により鉄道を失い、観光を失っている岩泉町は、一歩ずつ復興を進めているが、県内や全国から支援が必要だ。観光協会の方に龍泉洞の再開を訪ねると「夏までには再開したいですね」との返事が返ってきた。いつの日かもう一度、日本三大鍾乳洞のひとつ龍泉洞を訪れてほしい。(孝)

## 方針討論

### 組織拡大、職場の実態の声

#### エルダー職場問題など議論

#### 代議員10人が発言

方針討論は、10人の代議員が発言した。要旨は次の通り。

近藤信博代議員 (盛岡駅連合分会) 矢幅駅勤務は7時の出勤で

あるが、6時20分から準備作業をサービス労働での実態にある。TSSは遺失物検索システムから外れ不便になり、1人勤務の実態としては遺失物をサービス労働で届けて

「いわいずみ」は11月1日の仮オープンに向け内装工事が急ピッチで進められている。隣接する楽天イギリス球場は大量の土砂が押し寄せフェンスも変形したまま。驚いたのはライオンスタンド側に濁流に流れられ制御を失ったトラック3台が横転した状態のまま放置されている。まるで東日本大震災を思わせるような光景に改めて豪雨被害の恐ろしさを感じる。被害がなければ「2016希望郷いわて国体」の軟式野球競技会が開催されるはずであり残念でならない。そんな中、東京の中学生の一行が修学旅行で岩泉町を訪れるニュースが流れた。彼らは豪雨被害で龍泉洞を見学することができないのを承知の上、今年も岩泉町を選んでくれた。2014年岩泉線の廃線により鉄道を失い、観光を失っている岩泉町は、一歩ずつ復興を進めているが、県内や全国から支援が必要だ。観光協会の方に龍泉洞の再開を訪ねると「夏までには再開したいですね」との返事が返ってきた。いつの日かもう一度、日本三大鍾乳洞のひとつ龍泉洞を訪れてほしい。(孝)

方連合会会長、中堤久江地方本部家族会会長。【祝電・メッセージ】(順不同) 若手県教職員組合、若手県高等学校教職員組合、若手県交通労働組合、全自交若手地方本部、全農林労働組合若手県協議会、全国林野関連労働組合若手県協議会、全労若手県連合労働組合若手支部、若手県合同労働組合連合会、全日本運輸産業労働組合若手県連合会、国労関係(秋田・仙台・新潟・水戸・高崎・東京・長野・千葉の各地方本部)

あるが、6時20分から準備作業をサービス労働での実態にある。TSSは遺失物検索システムから外れ不便になり、1人勤務の実態としては遺失物をサービス労働で届けて

「いわいずみ」は11月1日の仮オープンに向け内装工事が急ピッチで進められている。隣接する楽天イギリス球場は大量の土砂が押し寄せフェンスも変形したまま。驚いたのはライオンスタンド側に濁流に流れられ制御を失ったトラック3台が横転した状態のまま放置されている。まるで東日本大震災を思わせるような光景に改めて豪雨被害の恐ろしさを感じる。被害がなければ「2016希望郷いわて国体」の軟式野球競技会が開催されるはずであり残念でならない。そんな中、東京の中学生の一行が修学旅行で岩泉町を訪れるニュースが流れた。彼らは豪雨被害で龍泉洞を見学することができないのを承知の上、今年も岩泉町を選んでくれた。2014年岩泉線の廃線により鉄道を失い、観光を失っている岩泉町は、一歩ずつ復興を進めているが、県内や全国から支援が必要だ。観光協会の方に龍泉洞の再開を訪ねると「夏までには再開したいですね」との返事が返ってきた。いつの日かもう一度、日本三大鍾乳洞のひとつ龍泉洞を訪れてほしい。(孝)

あるが、6時20分から準備作業をサービス労働での実態にある。TSSは遺失物検索システムから外れ不便になり、1人勤務の実態としては遺失物をサービス労働で届けて

あるが、6時20分から準備作業をサービス労働での実態にある。TSSは遺失物検索システムから外れ不便になり、1人勤務の実態としては遺失物をサービス労働で届けて

あるが、6時20分から準備作業をサービス労働での実態にある。TSSは遺失物検索システムから外れ不便になり、1人勤務の実態としては遺失物をサービス労働で届けて

〔表面から続く〕  
と変貌。異動に伴う差別がないよう、分会として取り組んできた。車両改造研修で、国労6人が東京へ、青森での具体的な内容が出ていない。2020年には検修設備が青森駅へ移転の噂。今後が不安。  
▽青森地区はエルダー雇用厳しい。制度は破壊している。65歳定年延長を求める闘いを強化してほしい。  
◎八重樫後代表議員

▽3月の全分会オクルグ実施後に、信通班でも新採り組みの動きが出てきた。電力班は花見の懇親会などもやっている。拡大に信通・電力一体となり取り組む。  
▽新規採用者、入寮時に管理者主導で他労組加入が行なわれているのではないかと。設備メンテから15年経過し



小原典昭代議員 (青森駅連合分会)



工藤則彦代議員 (花輪線地域分会)



大西信行代議員 (盛岡施設分会)

たが、信通職場50人中8割が平成採用者。災害時の直外区分が不明確になっている。メンテ21の再検証をすべきだ。技術継承も大切だ。  
◎工藤則彦代議員

▽65歳になる出向者の後補充を仙建は望むが、JRは60歳近くにならないと出向に出さない。会社間のミスマッチが発生している。今後のエルダー増加を考えれば、本体配置を強く求める。  
▽分会大会や執行委員会も開催できないでいるが、会議は休みを調整しながら出席している状況。6月1日に若手が入れ替わり、2年目の社会人

採用が配属された、今後関わって行きたい。  
◎加藤寿代議員 (八戸貨物分会)  
▽北海道の台風による被害で、コンテナを船便代行している。そのため、業務が多忙となり、休憩も十分に取れない状況も出ている。  
▽貨物の現状を踏まえ、今後とも客貨一体となった闘いを進めたい。  
◎大西信行代議員 (盛岡施設分会)

▽新規採用者加入は、職場・支部を超えた連携の成果と思える。今後、他地方本部との連携、情報共有の強化を図り、孤立させない取り組みを進めたい。  
▽若手は仕事に、組合の集いと多忙になっている。新人社員1人で残業している時もあるが、他方でベテランも大変

1人あたりの業務量増加が背景にある。若手と話す中で拡大に取り組む。  
◎横濱幸徳代議員 (青森施設分会)  
▽新規採用者、配属日に他労組加入も、新採3人とは気さくに話をし、交流している。若手の不満や国労への想いも聞き出しながら、国労加入の声かけをし全員の力で取り組んでいきたい。  
◎松島義文代議員 (盛岡駅連合分会)

○他労組新規採用者の加入手続問題、発言にあるように寮で管理者主導の下での他労組加入であれば明確な不当労働行為であり、看過できない。より確かな情報をお願いしたい。  
○花輪線地域分会の苦労は全体に共通する。まず集まる場を作り、三役会議等を開くなどし、何ができるかを支部・地本も入り議論していこう。  
○新規採用者の国労加入、

# 交流の場を作り組織拡大を

## 憲法・民主主義を守り闘おう

### 沢田書記長 集約(要旨)



沢田書記長

【組織の強化・拡大の闘い】  
国労の最重要課題であり、どのようにして組織拡大を実現していくのか集中が求められている。初めて今年度新規採用者の国労加入を勝ちとつた。この加入の意義を組合員

一人ひとりがしっかりと受け止め、さらにもう一人を拡大する運動に取り組んでいく。差別を無くし風通しのいい職場を作るため、職場以外でも飲み会やレクリエーションなど、交流の場を作り拡大に結び付けていこう。

【一括和解以降の職場の取り組みと合理化反対、労働条件改善、安全定額輸送確立の取り組み】  
安全定額輸送の確立にむけ、仕事のあり方や瞬時の判断、

差別的撲滅とコミュニケーションの重要性、人材育成・技術継承など会社に訴え要求してきた。今後も労働組合としてチェック機能を果たし、要求を継続していく。エルダー・嘱託社員の出向先における諸問題については、「東日本本部・本社間の確認ルー」を軸に改善を求めていくが、グループ会社との労使関係も視野に置く。  
来春闘は、賃上げ・雇用の安定・働くルールの確立による

格差と貧困の是正、社会保障制度の拡充や原発、戦争法」廃止、護憲と平和、貨物会社が進める低賃金施策を許さずアベノミクスを求め、公共交通安全を確保し被災線区の早期復旧に向けた取り組み  
北海道新幹線開業後の課題を検証し、国労の政策提言実現と国民の移動する権利の確立に向け本部・東日本本部、関係機関と連携し運動を進める。松草・平津戸間の土砂流入区間の復旧や台風10号による川内・茂市間の被災区間の早期復旧など、復旧と沿岸支援にむけた情報発信を求め、働く場所の確保と災害に強い鉄道作りに取り組んでいく。  
【平和と民主主義を守る闘いの強化について】

第24回参議院議員選挙の結果、自公連立与党は改憲発議が可能で3分の2議席を参議院でも獲得し、「戦争法」を成立させた安倍自公政権の暴走の加速が想定される。また、政権継承と、憲法改正を確実なものにするために、解散総選挙が予断を許さない情勢となっているが、野党統一候補が11区で当選を勝ち取った成果を踏まえ、安倍政権の暴走を止める運動を展開していく。  
憲法・民主主義擁護、集団的自衛権行使と武器輸出反対、脱原発とエネルギー政策の転換、反TPP、雇用と社会保障の拡充などの課題を政党・共闘組織・市民団体などとの連携を深め、ナショナルセンターとの関係についても議論を深めていく。

10月8日、地方執行委員会第72回定期地方大会終了後、2016年度の第1回執行委員会を開催し任務分担を確認した。  
なお、会社関係、共闘関係は紙面上割愛する。

- ◎執行委員長 専従 佐々木 力 (盛岡保線技術センター)
- ◎執行副委員長 小林 良宏 (盛岡保線技術センター)
- ◎総務・財政部長、法対部長 阿部 一久 (八戸運輸区)
- ◎調査部長、教宣部長 田崎 秋弘 (青森運輸区)
- ◎書記長 専従 沢田 光広 (北上新幹線保線技術センター)
- ◎企画部長、業務部長 菊池 要悦 (盛岡駅)
- ◎執行委員 小笠原勝豊 (鹿角花輪駅)
- ◎組織部長、青年対策部長、業務部長、家族会担当 及川 孝 (盛岡電力技術センター)
- ◎会計監査員 鈴木 清正 (北上駅)
- ◎淡路 明則 (青森保線技術センター)

- ◎最優秀賞 「可動橋」 青森駅連合分会
- ◎優秀賞 「けんまい」 北上駅連合分会
- ◎電気もりもり 盛岡電気分会

# 第一回執行委員会で分担確認

長、企画部長、政治共闘部長、阿部 一久 (八戸運輸区)

2016年度 地方委員 11人を選出

くことが大切だ。  
○小岩井駅業務委託の団交の際にも、遺失物の取り扱い(超動処理)については確認した。サービスマンが残業のないよう、超勤の扱いについて、支部を通じてTSSへ指導を求めて行くことも検討したい。  
○国労の組織体制について、現在は各旅客会社とはエリア本部が対応し、貨物会社とは本部が対応している事実もある。そうした現実を踏まえながら、組織のあり方について今後議論を開始していく必要がある。

は選管の取り扱いとなり、選管には話していく。  
○エルダー社員の発令は希望通りになっていないケースも見られる。アドバイザー配置の基準については確認する。本体配属や定年延長については国労の要求として掲げているが、壁が厚く、高い状況にある。今後も引き続き求めて行く。  
○新規採用者は標準数に入っていないと思うが、要員不足の実態について検証していく。  
○青森の車両改造作業、準備室をつくり進められると思うが、分会と相談しながら推移を検証していく。

地方議員団の写真左から高橋伸二平泉町議会議員、星敦子北上市議会議員、阿部 一久花巻市議会議員、千葉信吉一関市議会議員、山崎道夫矢巾町議会議員、斎藤憲雄青森市議会議員が大会に参加した。  
(木村幸弘岩手県議会議員、久保幸喜前県議会議員は私事により欠席)  
各議員は、自治体・議会で取り組みや選挙への謝辞と協力要請等を述べた。なお、議員団会議も開催された。

2016年度 地方委員 11人を選出

# 選挙への謝辞と協力要請



地方議員団の写真左から高橋伸二平泉町議会議員、星敦子北上市議会議員、阿部 一久花巻市議会議員、千葉信吉一関市議会議員、山崎道夫矢巾町議会議員、斎藤憲雄青森市議会議員が大会に参加した。  
(木村幸弘岩手県議会議員、久保幸喜前県議会議員は私事により欠席)  
各議員は、自治体・議会で取り組みや選挙への謝辞と協力要請等を述べた。なお、議員団会議も開催された。

「可動橋」が 最優秀賞